

3月の新刊本

【日本文学】

- 「正しき地図の裏側より」 逢崎 遊/著 集英社
- 「君を守ろうとする猫の話」 夏川 草介/著 小学館
- 「のち更に咲く」 澤田 瞳子/著 新潮社
- 「火輪の翼」 千葉 ともこ/著 文藝春秋
- 「生きる演技」 町屋 良平/著 河出書房新社

【医学】

- 「休養学 「休み方」を20年間考え続けた専門家がついに編み出したあなたを疲れから救う」
片野 秀樹/著 東洋経済新報社

【社会】

- 「涙にも国籍はあるのでしょうか 津波で亡くなった外国人をたどって」
三浦 英之/著 新潮社

【交通】

- 「旅客機デザイン解体新書 世界のエアラインに見る機体カラーリングの魅力」
チャーリィ古庄/著 イカロス出版

【動物学】

- 「都市に侵入する獣たち クマ、シカ、コウモリとつくる都市生態系」
ピーター・アラゴナ/著 川道 美枝子ほか/訳 築地書館

【暮らし】

- 「ひとり暮らしスタートガイドブック これ一冊で安心！」
河野 真希/監修 坂本 綾子/監修 国崎 信江/監修 ナツメ社
- 「老後の家がありません シングル女子は定年後どこに住む？」
元沢 賀南子/著 中央公論新社

【YA】

- 「つながる読書 10代に推したいこの一冊」
小池 陽慈/編 筑摩書房

など…

時津図書館だより NO.246

オアシス
Oasis

2024年 4月

時津町立時津図書館／発行

西彼杵郡時津町浦郷 31-14

TEL 095-882-4436

FAX 095-881-2966

ホームページ <http://lib.togitsu.jp/>



サン＝テグジュペリの言葉

ほんとうの書物とは網のようなもので、ことばがその網の目の一つ一つをつくっているのである。

網の目がどのようにできているかはどうでもよい。

たいせつなのは、漁師が海の底から引きあげる生きた獲物、網の目のあいだに光って見える、あの銀鱗のきらめきなのである。

『サン＝テグジュペリ著作集 3 人生に意味を』

サン＝テグジュペリ/著 みすず書房 1987 より

図書館カレンダー

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

は休館です

【開館時間】

- ・火～金・日曜日
午前10時～午後6時(本館)
午前10時～午後5時(分館)
- ・土曜日(☆)
午前9時～午後7時(本館)
午前10時～午後5時(分館)

【休館日】

- 毎週月曜・最終金曜
- 祝祭日(月曜と重なった場合は翌日の火曜も休館。但し5/5と11/3は開館)
- 毎月1日(分館のみ・土日は開館)

4月に入る予定の最新刊です

- 「テミスの不確かな法廷」 直島 翔/著 KADOKAWA
- 「海を覗く」 伊良 刹那/著 新潮社
- 「母からもらった腎臓 生体臓器移植を経験した記者が見たこと、考えたこと」
倉岡 一樹/著 毎日新聞出版
- 「糖質疲労 「疲れやすさ」と「老化」の正体」
山田 悟/著 サンマーク出版
など…

「時津図書館講演会」が開催されました

3月23日(土)に渡橋恭子氏(長崎純心大学人文学部講師)をお招きして講演会「『源氏物語』の世界を知ろう」を開催しました。大河ドラマでも話題の平安時代、紫式部によって書かれた『源氏物語』の魅力をわかりやすくお話していただきました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。次回の「時津図書館講演会」も、お楽しみにしてください。

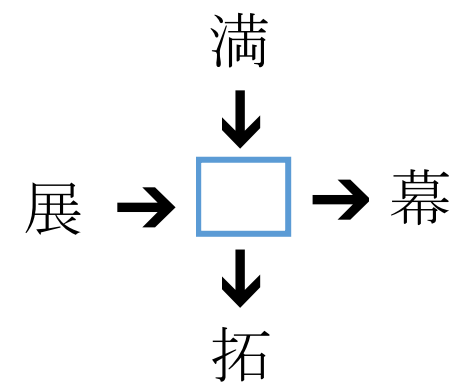


わかったかな? ちょっと脳トシ 3月号の答え

答え：行
壮行、流行、行事、行程

わかるかな? ちょっと脳トシ 4月号のクイズ

穴埋め問題：□の中に漢字を入れて、熟語を完成させましょう。



答えは5月号で

3月のリクエスト状況 (一般書)

- ★ 「有罪、とAIは告げた」 中山 七里/著 小学館
- ★ 「ブラック・ショーマンと覚醒する女たち」
東野 圭吾/著 光文社
- ★ 「警官の酒場 道警・大通警察署」
佐々木 譲/著 角川春樹事務所
- ★ 「水脈」 伊岡 瞬/著 徳間書店
- ★ 「用心棒稼業 芋洗河岸2」 佐伯 泰英/著 光文社
- ★ 「守護者の傷」 堂場 瞬一/著 KADOKAWA